

函館市地域包括支援センターこん中央

(地域包括支援センター運営業務)

令和3年度（2021年度）活動評価

令和4年度（2022年度）活動計画

中央部第1圏域



— 目 次 —

1. 圏域の現状と課題	・・・	1
2. 重点活動	・・・	5
3. 令和3年度活動評価および令和4年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・・・	6
(ア) 総合相談支援業務	・・・	6
(イ) 権利擁護業務	・・・	12
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	16
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	22
イ 生活支援体制整備事業	・・・	30
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	30
ウ 認知症総合支援事業	・・・	36

圏域の現状と課題

1. 人口の推計と年齢構成

(人, %)

	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R3.9	割合	全市
年少人口	2,086	2,044	1,954	1,864	1,803	1,768	8.0%	9.4%
生産年齢人口	13,024	12,724	12,382	12,001	11,812	11,762	53.1%	54.4%
高齢人口	8,845	8,857	8,828	8,764	8,670	8,605	38.9%	36.3%
(再) 65～74歳	4,235	4,170	4,104	4,066	4,021	4,014	18.1%	17.7%
(再) 75歳以上	4,610	4,687	4,724	4,698	4,649	4,591	20.7%	18.6%

2. 世帯構成 (R3.9)

(世帯, %)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	4,265	30.9%	25.9%
高齢者複数世帯	1,463	10.6%	13.1%
その他	8,063	58.5%	61.0%

3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人, %)

	R2.9	R3.9	全市
認定者数	804	757	7,340
認定率	9.2%	8.8%	8.1%
給付実績	540	511	4,634
給付率	67.2%	67.5%	63.1%

4. 介護保険サービス事業所数 (R3.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	18
地域密着型サービス (※2)	16

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の件数

※2 地域密着型サービス事業所 (小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く) の件数

圏域の18町のうち、12町に居宅介護支援事業所等の開設がある。開設のない6町の住民は身近で介護相談がしづらい状況にある。

5. 地域環境と医療・福祉・教育等機関

①圏域の地域環境

函館市中央部に位置し、東西に函館湾と津軽海峡 (大森浜)、圏域中央に亀田川が流れる。海拔2～12Mにあり、勾配はなだらかで比較的平坦な地形である。国道5号線・八幡通り・高砂通り・漁火通り等の主要道路の他、路面電車が通り、交通の便は比較的良い。反面、広路の多さが生活に影響し、外出機会の減少の要因になっている。

函館駅周辺の朝市商店街・ホテル群エリア、金堀町や広野町、日乃出町にある団地群、千代台公園や総合福祉センター等の市内全域の住民が利用する公共施設がある。

学校の統廃合による校区拡大により、児童、学生の通学時の安全確保が課題になっている。

②医療機関数

(件)

病院	2	総合病院 (一般病床、地域包括ケア病棟、療養病床)
診療所	8	内科 (6) 整形外科 (1) 皮膚科 (1)
歯科	11	

③地域組織

町内会、自治会	町会 (18)、自治会 (1)
民生児童委員協議会	第4、5、8、9方面民生児童委員協議会
老人クラブ	6クラブ

④保育・教育機関数

認定こども園、認可保育所、幼稚園	8園
小学校	4校
中学校	1校
専門学校	1校

⑤公園・公共施設等

公園・緑地	20か所	
社会教育関係施設	16施設	総合福祉センター、青年センター、児童館（2）図書館（1） 観覧施設（3）、競輪場、スポーツ施設（7）

⑥福祉施設

障がい者福祉施設	39施設	指定就労移行支援事業所(2)、指定就労継続支援事業所A型(1)、 指定就労継続支援事業所B型(15)、指定生活介護事業所(3)、指定 短期入所事業所(3)、指定共同生活援助事業所(5)、指定相談支援事 業所(2)、地域活動支援センター(1)、指定児童発達支援事業所(2) 指定放課後等デイサービス事業所(4)、保育所等訪問支援事業所(1)
救護施設	1施設	明和園
母子生活支援施設 等	4施設	母子家庭等就業・自立支援センター、高砂母子ホーム無料職業紹介 所、高砂母子ホーム、松陰母子ホーム

6. 高齢者の健康・社会参加等の状況

- ①高齢者総合相談対応内容は、「介護保険・総合事業」「健康」「住まい」「認知症」等に関するものが多かった。新型コロナウイルス感染症対策のために外出を自粛し、交流の機会が減少、閉じこもり傾向の生活となっている住民が多い状況である。高齢者等は、足腰の筋力が低下して転倒したり、うつ傾向やもの忘れが悪化する等、フレイル（虚弱）な状態となっている。また、家屋の老朽化や緊急時体制不備等のため、独居生活に不安を訴える高齢者等が増えている。
- ②健康づくり教室（以下「元気サロン」という。）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時は、すべての「元気サロン」が開催を休止したが、令和3年度は、感染対策を互いに配慮しながら一定数の元気サロンが再開した。一方、感染の不安や会場確保が困難である等の理由から、再開していない元気サロンもあり、1サロンは会場の都合もあり活動が終了した。
- ③地域からの孤立、認知症が悪化し成年後見制度の活用が必要、家族に精神疾患があり介護負担増、経済困窮が要因となった高齢者虐待の発生等、権利擁護支援対象者数や対応回数は例年の半数に減少した。

7. 地域の見守り、支え合いについて

- ①民生児童委員（以下「民生委員」という。）、町会、在宅福祉委員等（以下「地域支援者」という。）からの聞き取り、相談、懇談会等から、
 - ・新型コロナウイルス感染症予防のために町会行事やふれあい会食会等を中止したり、高齢者宅への訪問が制限されたことにより、地域の見守り体制が取りづらい状況となっている。感染対策を話し合い、様々な工夫をし見守り活動を再開する町会等が一定程度ある。
 - ・地域支援者は、各会の活動や悩み等を話し合い、相互理解することによって、地域の見守りをする上で、高齢者等の困りごとを早期に気づき相談につなげることができるのではないかと考えている。
- ②高齢者総合相談の状況から、
 - ・住民、地域支援者等からの相談件数は、令和2年度の約2倍（全相談数の9%）に増加した。一方、相談数の少ない町があり、支援の必要な高齢者が相談につながっていないおそれがある。
- ③権利擁護相談で対応した高齢者では、認知症、精神疾患、独居、制度利用がない等により、問題が複雑化してから相談につながるが多い。
地域支援者等が、問題が複雑化する前に相談するタイミングを把握しており、又、ケアマネジャー等と連携し支援することによって、安心な在宅生活の継続が可能になった高齢者がいる。

8. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	支援が必要な高齢者が相談につながっていないおそれがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員の問題の捉え方 ・ 相談をくれていた在宅福祉委員の転居。民生委員の退任。 ・ 地域包括支援センター（以下「センター」という。）が民生委員との関わりが少ない。 ・ 高齢者、家族、地域住民がセンターを相談窓口と知らない。 ・ ケースワーカーがセンターを相談窓口と知らない。 ・ 地域支援者は町会等に参加していない、関わらない高齢者を把握しにくい。 ・ 地域の見守り体制の脆弱化。見守り活動の担い手がない。 	相談が少ない町の地域支援者とのネットワークを強化することができる。
2	地域の高齢者の問題が複雑化してから相談につながるが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員が問題が複雑化するリスクが高い高齢者がわからないので相談につながらない。 ・ ケアマネジャーがリスクが高い高齢者、家族を認識していてもセンターへ相談しない。 ・ 認知症、精神疾患、独居、制度利用がないとケースが複雑化しやすい。 ・ 家族、地域支援者が相談のタイミングがわからない。 	地域支援者が相談のタイミング（地域の高齢者の問題が複雑化する前）を知ることができる。
3	民生委員が見守り活動に困難さを感じている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員は対象者の担当ケアマネジャーがわからない。担当ケアマネジャーを知るための相談先がわからない。 ・ 民生委員は見守る高齢者に関わる機関を知らない。 ・ 民生委員は連携したいと思っているが、ケアマネジャーは民生委員と連携する意識が低い、必要性を感じていない。要介護認定者は介護保険で支援が完結してしまいがち（要介護認定が高い程）。 ・ ケアマネジャーは民生委員の役割がわからない。連携ガイドを読んでいない。 ・ 地域との連携は、センターの業務だと思っているケアマネジャーがいる。 ・ 民生委員と連携した経験がない（成功体験がない）ケアマネジャーもいる。 	民生委員が困難さを感じずに、見守り活動を継続できる。

4	閉じこもりのため、 虚弱高齢者が増えて いる。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出減少の理由：経済的問題、交通手段がない。 ・グループ活動不参加の理由：会/活動を知らない。 ・新型コロナウイルス感染拡大禍で地域活動が休止、縮小。高齢者は外出自粛。 ・高齢者が通いたい場所が近くにない。 ・家で過ごすことが好きな高齢者の健康に対する意識の有無（有る人は自宅内で運動に取り組む） ・運動、外出の必要性を感じていない（セルフマネジメントの意識が低い）。 ・人と交流することを好まない高齢者 	高齢者が地域活動 を知り、参加する ことができる。
---	-------------------------------	---	---------------------------------

9. そのほか地域の現状やニーズに基づく地域課題

- ・「災害」に関して不安に思っている町会や地域がある。平常時からの住民同士の声かけや見守り合いの取り組みが必要であると理解しており、その実践に向け、住民と関係機関が検討する機会をもつ。
- ・スーパーの閉店が予定される地域があり、買い物困難に思う高齢者等が、他商業施設へ移動手段や宅配サービス等の利用等を検討、相談することができる。

重点活動

番号	地域課題	各業務での取組
1	相談が少ない町の地域支援者とのネットワークを強化することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の開催：地域支援者の体制、見守り、集い場づくり、既存の元気サロン等を話題に、住民や関係機関等が地域支援者と顔を合わせ、話し合う。
2	地域支援者が相談のタイミング（地域の高齢者の問題が複雑化する前）を知ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を検討する地域ケア会議を開催：「まちの見守り体制」をテーマに地域支援者や関係機関が話し合う。 ・個別ケースを検討する地域ケア会議の開催：相談のタイミングや関係機関の連携について話し合う。 ・問題が複雑化する要因に関してリーフレット等を作成し、地域ケア会議や懇談会開催時に配布、話題提供する。
3	民生委員が困難さを感じずに見守り活動を継続できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を検討する地域ケア会議を開催：「地域支援者とケアマネジャー等他機関との連携」をテーマに、成功事例を用いて協議する。 ・ケアマネジャーを対象とした懇談会（又は研修会）：民生委員をインフォーマルサービスと位置づけたケアプランの作成について考える。 ・出前講座の開催：民生委員を対象に行う。ケアマネジャーの業務、他機関との連携、福祉拠点に関する事例等を話題にする。
4	高齢者が地域活動を知り、参加することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談業務、見守りネットワーク事業対象者に対し、セルフマネジメントツールを活用した介護予防の取り組みを促す。 ・懇談会等の開催：集い場（元気deサロン、シェアトークカフェおれんじの木等）の再開、継続、未参加者への周知および新規立ち上げ等について話し合う。

令和3年度活動評価および令和4年度活動計画

ア 地域包括支援センターの運営

(ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価		
総合相談	1 利用者基本情報作成状況	(件、人、%)			<p>【活動目標】 高齢者に関わる機関、施設からの相談が増える。</p> <p>【評価】 ・利用者基本台帳作成数が、前年比92%と減少しているが、相談数は前年比約118%と増加している。 医療機関、居宅介護支援事業所からの相談の他、障がい相談機関、民間企業や施設等、高齢者に関わる様々な機関からの相談が増えており、目標は達成した。 ・ケアマネジャーからは、高齢者福祉サービスや権利擁護等に関する相談が増えた。利用者、家族の抱える問題が複雑化する前に、センターへ相談する認識をもつケアマネジャーが徐々に増えているのではないかと考える。 ・予防支援業務等を居宅介護支援事業所へ委託した場合、利用者基本台帳はケアマネジャーが作成する。 ・利用者の家族（高齢者）の実態把握を意識し取り組めた。 ・権利擁護相談や介護支援業務等へつなぐまで複数回の支援が必要なケースが多くなっている。</p> <p>【活動目標】 地域支援者や近隣住民等からの相談が増える。 (近隣住民等が、生活に困りごとを抱える高齢者に気づき地域支援者へ伝えることが増える)</p> <p>【評価】 ・令和2年度は住民と地域支援者からの相談は、全相談数の5%（24件）であったが、令和3年度は9%（47件）に増加し、目標は達成した。 ・相談経験のある地域支援者は、他の気になる高齢者等のことも相談する。</p>	
		R1.12	R2.12	R3.12		
	目標数値	890	901	854		
	作成数	予防給付	366	255		232
		(再)新規	59	78		62
		見守り	78	89		62
		(再)新規	69	80		42
		その他	347	303		302
		(再)新規	187	147		143
	合計(A)	791	647	596		
	(再)新規	315	305	247		
	高齢者人口(B)	8,796	8,732	8,605		
	実態把握率 (A/B)	9.0%	7.4%	6.9%		
	2 総合相談対応状況					
	①総合相談対応件数	(件)				
		R1.12	R2.12	R3.12		
	実件数	543	592	679		
	延件数	899	988	1,161		
	②相談者の続柄内訳（延・重複あり）	(件)				
		R1.12	R2.12	R3.12		
本人	440	460	569			
家族親族	303	419	460			
民生委員	14	21	51			
町会・在宅福祉委員	12	12	10			
知人・近隣住民	23	21	17			
介護支援専門員	107	143	184			
介護保険事業所	28	44	39			
医療機関	50	81	108			
行政機関	70	67	64			
警察・消防	-	-	9			
民間企業	-	-	16			
その他	26	41	34			
民間企業：コンビニ、郵便局、新聞販売所、不動産会社						
その他：障がい事業所、手話通訳者、企業局等						



令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
相談の少ない町の住民、地域支援者等からの相談が増える。	<p>1 高齢者の実態把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話、来所、訪問等により高齢者等の総合相談に対応する。訪問による実態把握を基本とする。(相談に至った経過を確認し、地域支援者や近隣、知人等の気づきや誰かへのつぶやき等の状況について把握する。) 集合住宅、高齢者住宅等の体制や入居者状況等の情報収集をし、見守りや地域交流、支え合い等に関する地域課題の検討につなげる。 見守りネットワーク事業の訪問による実態把握を行う。 <p>2 高齢者等の総合相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口（ワンストップサービス）として、電話、来所、訪問等により相談内容を把握する。 相談内容は、センター内で共有し、緊急性の判断、支援の方向性、役割分担、関係機関との連携等を協議する。 365日24時間体制で対応する。休日、時間外に関しては転送電話等で相談を受け、適宜対応する。 来所相談に随時対応できるように、営業時間内は1人以上の相談員を配置する。 対象者の介護予防の観点から課題がある場合、相談として捉え、セルフマネジメントツールを活用し介護予防支援につなげる。 民生児童委員協議会（以下「民児協」という。）定例会、町委行事、懇談会、出前講座、元気サロン等の場面で随時相談受付し対応する。 相談者の属性やセンターへの相談に至る経過を確認し、センターの周知状況について把握する。 総合相談状況、対応等についてデータ分析し、地域の特性や社会資源等の把握、地域課題の発見等につなげる。 <p>3 総合相談支援業務に関する広報・啓発</p> <p>①広報紙・リーフレットの発行、配布（年3回発行）</p> <p>1) 広報紙の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の見守り(支援の必要な高齢者に気づく視点) 福祉拠点としてのセンターの機能、役割 高齢者総合相談について(介護保険制度、介護方法、介護予防、心身の健康、認知症、住まい、高齢者福祉サービス、生活援助等) 認知症の理解と援助（認知症ケアパスを活用） 介護予防活動（セルフマネジメント）の取り組み方 <p>2) 広報紙等の配布方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が立ち寄る先や高齢者宅を訪問する機関に設置(町会館、民児協、医療機関、薬局、公共施設、金融機関、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、個人商店等) 町会回覧 タウン紙等に記事記載、折り込み 自動車運転高齢者講習における資料 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者基本情報作成数と目標数値に対する達成率（実、延、新規） 実態把握率 相談対応件数（実、町別、年月別） 相談形態内訳 相談者の状況、続柄内訳 相談内容内訳 相談経路内訳 セルフマネジメント支援対応数 住民に対する広報・啓発回数 広報紙の発行回数 パンフレット等の配布回数 出前講座、講師派遣回数 認知症サポーター養成講座、出前講座の回数 ○ 総合相談にかかる広報・啓発内容 センター業務、介護保険制度、保健福祉サービス、認知症 出前講座、講師派遣の依頼機関

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価																																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																											
総合相談	<p>③相談者別相談数と全年比割合</p> <p>総合相談 相談者別</p> <p>■平成30年度 ■平成31年度 ■令和2年度 ■令和3年度 — 前年比</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口に対する相談割合が低く、令和2年度に比べ相談数が減少している町があり、支援の必要な高齢者が相談につながっていないことが懸念される。 ・既に問題が複雑化していたり、緊急対応を要する状況になってから相談に至るケースが多い。 																																																											
	<p>④相談内容内訳（延・重複あり）</p> <p>(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険・総合事業</td> <td>758</td> <td>769</td> <td>840</td> </tr> <tr> <td>保健福祉サービス</td> <td>64</td> <td>99</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td>1</td> <td>22</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>29</td> <td>182</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>74</td> <td>104</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>住まい</td> <td>43</td> <td>80</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>権利擁護</td> <td>17</td> <td>52</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>安否確認</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>(再掲) 障がい</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>(再掲) 子ども</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(再掲) 生活困窮</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>			R1.12	R2.12	R3.12	介護保険・総合事業	758	769	840	保健福祉サービス	64	99	136	介護予防	1	22	11	健康	29	182	206	認知症	74	104	93	住まい	43	80	164	権利擁護	17	52	52	安否確認	-	-	15	その他	29	36	73	(再掲) 障がい	-	-	13	(再掲) 子ども	-	-	2	(再掲) 生活困窮	-	-	14	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容のうち「介護予防」に関する相談が例年少ない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、閉じこもり、虚弱な状態となった高齢者が多く、「介護予防」に取り組む必要性が高い状況にある。 ・高齢者自らが、「介護予防」の意識をもちることができるような取り組みが必要と考える。 						
			R1.12	R2.12	R3.12																																																								
	介護保険・総合事業		758	769	840																																																								
	保健福祉サービス		64	99	136																																																								
	介護予防		1	22	11																																																								
健康	29	182	206																																																										
認知症	74	104	93																																																										
住まい	43	80	164																																																										
権利擁護	17	52	52																																																										
安否確認	-	-	15																																																										
その他	29	36	73																																																										
(再掲) 障がい	-	-	13																																																										
(再掲) 子ども	-	-	2																																																										
(再掲) 生活困窮	-	-	14																																																										
<p>⑤町別老年人口比相談割合</p> <p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> <th></th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松風町</td> <td>6</td> <td>12.0</td> <td>中島町</td> <td>4.4</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>若松町</td> <td>6.9</td> <td>5.5</td> <td>千代台町</td> <td>4.2</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>千歳町</td> <td>5.8</td> <td>3.9</td> <td>堀川町</td> <td>5.7</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>新川町</td> <td>3.8</td> <td>7.8</td> <td>高盛町</td> <td>3</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>上新川町</td> <td>3.5</td> <td>8.1</td> <td>宇賀浦町</td> <td>3.4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>海岸町</td> <td>3.2</td> <td>6.6</td> <td>日乃出町</td> <td>5</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>大縄町</td> <td>5.7</td> <td>6.9</td> <td>的場町</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>松川町</td> <td>3.7</td> <td>6.1</td> <td>金堀町</td> <td>5.5</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>万代町</td> <td>6.2</td> <td>4.2</td> <td>広野町</td> <td>2.3</td> <td>10.2</td> </tr> </tbody> </table>		R2.12	R3.12		R2.12	R3.12	松風町	6	12.0	中島町	4.4	5.4	若松町	6.9	5.5	千代台町	4.2	6.6	千歳町	5.8	3.9	堀川町	5.7	6.4	新川町	3.8	7.8	高盛町	3	3.7	上新川町	3.5	8.1	宇賀浦町	3.4	6	海岸町	3.2	6.6	日乃出町	5	4.1	大縄町	5.7	6.9	的場町	4.1	4.1	松川町	3.7	6.1	金堀町	5.5	2.9	万代町	6.2	4.2	広野町	2.3	10.2	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やポスターを目にすることが増えたことにより、住民や関係機関からの相談が増えている。
	R2.12	R3.12		R2.12	R3.12																																																								
松風町	6	12.0	中島町	4.4	5.4																																																								
若松町	6.9	5.5	千代台町	4.2	6.6																																																								
千歳町	5.8	3.9	堀川町	5.7	6.4																																																								
新川町	3.8	7.8	高盛町	3	3.7																																																								
上新川町	3.5	8.1	宇賀浦町	3.4	6																																																								
海岸町	3.2	6.6	日乃出町	5	4.1																																																								
大縄町	5.7	6.9	的場町	4.1	4.1																																																								
松川町	3.7	6.1	金堀町	5.5	2.9																																																								
万代町	6.2	4.2	広野町	2.3	10.2																																																								
<p>⑥センターの周知経路</p> <p>(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政</td> <td>70</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>医療機関等</td> <td>43</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>民生委員、町会、在宅福祉委員</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>友人、知人、近隣等</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>広報紙、ポスター</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>インターネット</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他（見守りネットワーク事業、家族、介護・障がい事業所等）</td> <td>101</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table>		R2.12	R3.12	行政	70	66	医療機関等	43	26	民生委員、町会、在宅福祉委員	25	4	友人、知人、近隣等	8	12	広報紙、ポスター	5	7	インターネット	2	6	その他（見守りネットワーク事業、家族、介護・障がい事業所等）	101	148																																					
	R2.12	R3.12																																																											
行政	70	66																																																											
医療機関等	43	26																																																											
民生委員、町会、在宅福祉委員	25	4																																																											
友人、知人、近隣等	8	12																																																											
広報紙、ポスター	5	7																																																											
インターネット	2	6																																																											
その他（見守りネットワーク事業、家族、介護・障がい事業所等）	101	148																																																											

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>介護予防に自ら取り組む意識を持つ高齢者が増える。</p>	<p>②出前講座、認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙、タウン紙に案内を掲載 ・ 民児協や町会、民間企業、医療機関等へ開催を提案する。 ・ 令和4年度に開設した、福祉拠点としての「地域包括支援センター」に関する内容を内容とし、センターの機能・役割に関し周知を図る。 	

(7) 総合相談支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価			
	実績（実施回数，内容，実施方法等）		活動目標に対する評価	
総合相談	⑦対象者の疾患 (件,%)			
		R2.12	R3.12	
	筋骨系疾患	86 (27.8)	144(29.0)	
	認知症	46 (14.9)	69 (13.9)	
	循環器疾患	26 (8.4)	62 (12.8)	
	悪性新生物	25 (8.1)	46 (9.3)	
	精神疾患	20 (6.5)	27 (5.4)	
	脳血管疾患	17 (5.5)	22 (4.4)	
	心疾患	17 (5.5)	30 (6.0)	
	糖尿病	-	27 (5.4)	
	3 総合相談支援業務にかかる広報・啓発実施状況			
	①住民に対する広報・啓発回数 (回)			
		R1.12	R2.12	R3.12
	広報紙の発行	2	2	2
	パンフレット等配布	8	4	47
出前講座・講師派遣	8	3	3	
認知症サポーター養成講座	3	1	2	
②広報紙等の配布機関 (件)				
	R1.12	R2.12	R3.12	
配布機関数	81	124	143	
（再）新規機関数	25	31	16	
③総合相談にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 ()				
元気deサロン新川 松川町在宅福祉委員会 ※感染症対策のため中止				
<p>・2019年国民生活基礎調査における「支援が必要になった要因」で第1位は「関節疾患/筋骨系疾患」であり、相談対象者の疾患と同様である。「認知症」「循環器疾患」「糖尿病」を持つ相談者が多いことに着目し、高齢者の介護予防・健康づくりに関する地域課題となるか検討が必要である。</p> <p>・パンフレット、リーフレット等は、広報紙配布機関との意見交換や懇談会、出前講座開催時に配布したことにより、啓発活動を効果的に実施することができた。</p> <p>・出前講座等の依頼があった関係機関は、数件に留まった。出前講座や認知症サポーター養成講座等の開催を地域や関係機関に提案する場合、感染予防に配慮した実施方法について、引き続き周知する必要がある。</p>				

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】 介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】 高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価			
	実績 (実施回数, 内容, 実施方法等)			活動目標に対する評価
権利擁護相談 (高齢者虐待・困難事例への対応, 成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する対応)	1 権利擁護相談対応状況			
	①対応件数 (件)			
		R1.12	R2.12	R3.12
	ケース数 (実)	51	43	24
	〔再〕医療と連携あり	28	28	12
	対応回数 (延)	614	722	349
	②対応事案内訳 (実・重複あり) (件)			
		R1.12	R2.12	R3.12
	高齢者虐待	8	4	3
	〔最終〕終結数	5	2	3
〔最終〕終結率	62.5%	50.0%	100.0%	
セルフネグレクト	0	0	0	
成年後見等	8	9	6	
消費者被害	0	1	0	
困難事例	49	38	24	
その他	0	0	0	
③相談者・通報者 (項目重複あり) (件,%)				
	R1.12	R2.12	R3.12	
ケアマネジャー	18(35)	9 (20.9)	11(45.8)	
事業所	7(13.7)	2 (4.7)	1(4.2)	
住民	3(5.9)	2 (4.7)	1(4.2)	
民生委員	4(7.8)	2 (4.7)	2(8.3)	
本人	8(15.7)	8 (18.6)	3(12.5)	
親族	16(31.4)	10 (23.3)	4(16.7)	
行政	9 (17.6)	3 (7)	0(0)	
警察	8 (17.6)	8 (18.6)	2(8.3)	
医療機関	13 (25.5)	9 (20.9)	3(12.5)	
不明匿名	0 (0)	0 (0)	0(0)	
その他	7 (13.7)	0 (0)	2(8.3)	
【活動目標】 ケアマネジャーや介護サービス事業所職員が虐待や成年後見に関する知識を持ち相談機関へつなげることができる。				
【評価】 ・ケアマネジャーに対する研修として、成年後見制度の概要や、制度申立てにおける弁護士とケアマネジャーの連携等を内容としたことで、成年後見に関する知識を持つことにつながった。研修はオンライン形式だが、互いに顔を見ながら、意見交換する時間を持つことで、制度利用が必要な対象者がいた際に法テラスやセンター等の相談機関に相談しやすくなるよう工夫したが、その後、制度利用に関する相談にはつながらなかった。 ・介護サービス事業所職員に対する研修として、高齢者虐待の概要や虐待対応の流れを事例と講義を通じて学ぶような内容としたことで、虐待に関する知識を持つことにつながった。 ・虐待に関しては、参加事業所からの発信で、ケアマネジャーからセンターへ虐待疑いの通報が入ったケースがあり介護サービス事業所が相談機関へつなげることはできた。介護サービス事業所については、虐待が疑われる状況を経験したことがないと答える参加事業所が半数おり、研修等で虐待事例に触れる機会があることで、実際に虐待が疑われる場面に遭遇した際に迅速に相談できることにつながると考える。研修等の内容を工夫し、相談につながるよう、取り組みを継続していく必要がある。				
【活動目標】 医療の介入を要する対象者について、医療機関と相談し、支援できる。				
【評価】 ・本人に認知症又は精神疾患等の疑いがあり、理解力や判断力の低下がある。又は被害妄想等のある状況により、現状のままでは在宅生活が困難な対象者に対して、医療機関と連携し受診につなげたり、必要な介護保険サービスの利用につながる等の支援をすることができた。 ・対象者だけでなく、家族に精神疾患がある、また性格に困難さがあり、配慮が必要なケースにおいても、医療機関と事前に情報共有をしながら連携し支援することができた。				

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>ケアマネジャーや介護サービス事業所職員が成年後見や虐待に関する知識を深め、相談するタイミングがわかる。</p>	<p>1 研修会、懇談会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の居宅介護支援事業所や、小規模多機能型居宅介護のケアマネジャーを対象に、成年後見制度を申し立てたケースを用いて、様々なケースの申し立てに至った経過や相談のタイミングを学び、自身のケースで必要時に相談できるようになることを目的に研修会又は懇談会を開催する。 ・圏域の介護サービス事業所を対象に、高齢者虐待に関する事例を用いて早期相談、通報のタイミングを知ることを目的に研修会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護相談対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談、通報者内訳 ○高齢者虐待対応状況 <ul style="list-style-type: none"> ・通報件数 ・虐待実件数 ・終結件数（率） ○高齢者虐待、困難事例成年後見制度、消費者被害に関する研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 ・参加機関、参加者数 ・研修会後の対応状況 ○カンファレンスや地域ケア会議、懇談会等の開催回数、開催内容

(4) 権利擁護業務

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
権利擁護相談 （高齢者虐待・困難事例への対応、 成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する 対応）	<p>2 権利擁護業務に関する研修会の開催</p> <p>①高齢者虐待に関する研修会 参加者：圏域内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護のケアマネジャー 12名 研修内容：講義「判断力が低下している方のケアマネジメントに活用できる社会資源」 講師 法テラス函館法律事務所 常勤弁護士 河野正嗣氏 阿比留真由美氏 事例紹介</p> <p>②成年後見に関する研修会 参加者：圏域内の介護サービス事業所の職員 14名 （内訳：訪問介護 5名、通所介護 5名、短期入所生活介護 2名、定期巡回随時対応 2名） 研修内容：講義「高齢者虐待について」 事例紹介 演習 「事例を通じて、もしも自分が対応していたら」</p> <p>3 地域ケア会議の開催</p> <p>①個別ケースを検討する地域ケア会議の開催 参加者：民生委員、町会役員、ケアマネジャー、介護サービス事業所、行政、企業局、警察 検討内容：支援の振り返り 類似ケースがあった際の地域住民と地域の支援者の見守り体制 センター等との連携方法</p> <p>②地域課題を検討する地域ケア会議の開催 参加者：民生委員、ケアマネジャー 合計21名 内 容：話題提供「高齢者支援に関わる機関の紹介」 グループワーク 事例を通じて、相談機関や地域支援者の役割を知り、地域支援者と相談機関の連携について協議する。</p>	<p>【活動目標】 早期相談に向けて、地域支援者や関係機関が町の状況を知り、地域の見守りについて考えることができる。</p> <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースを検討する地域ケア会議では地域支援者やケアマネジャー、企業局、行政等を参集した。状況が悪化してから相談につながった事例の支援の振り返りを行うことで地域支援者が相談機関へ発信するタイミングや、関係機関や地域の支援者とセンターとが連携して、支援していくための方法を検討することができた。 ・参加したケアマネジャー、行政、企業局等は地域支援者の各機関の役割を知り、同じ町の地域支援者同士や地域支援者と近隣の声掛け等の見守り体制の具体を知ることができた。 ・地域課題を検討する地域ケア会議での1つの事例を用いて、対応の流れや相談先等についてグループワークを行った。地域支援者とケアマネジャー、センターとがお互いの役割を学ぶことにつながった。地域支援者が相談先として、自身の住むまちの町会や在宅福祉委員複数人で相談してから、センター等の相談機関へつないでいることがわかった。相談しやすい関係性を構築することが、対象者の状況が困難化する前の相談につながるため、それぞれが今後もお互いの役割を理解し、地域の見守りについて考えていけるような取り組みを継続していく必要がある。 ・地域ケア会議や懇談会を通じて、センター職員の中には、ケースによっては事例が困難化すると地域の支援者へ支援や連携を求めづらい意識があることがわかった。今後、地域支援者も含めた支援を意識的に行うことができるようなセンター内での取り組みが必要と考える。

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>早期相談に向けて、地域支援者と関係機関が互いの役割を知り、見守り体制について考えることができる。</p>	<p>2 地域ケア会議や懇談会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援者とケアマネジャー等を参集し、お互いの役割を知り、地域の見守り体制を考えることを目的に、地域課題を検討する地域ケア会議を開催する。 ・早期相談に向けて、問題が複雑化する要因に関するリーフレットを作成し、地域ケア会議や懇談会開催時に配布、話題提供する。 	
<p>センター職員が地域支援者と情報共有しながら支援することができる。</p>	<p>3 センター職員のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで権利擁護業務の事例を報告し、地域支援者の関わりに意識を向け、協議する。 ・地域支援者との連携に向けて、必要時個別ケースを検討する地域ケア会議を開催する。 ・地域支援者と連携した際に把握した地域支援者の状況をミーティングで共有し、他ケースの支援に活かす。 	

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価																			
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																		
介護支援専門員に対する個別支援	<p>1 介護支援専門員への個別支援状況（実）</p> <p style="text-align: right;">(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース数</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>終結数</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		R1.12	R2.12	R3.12	ケース数	18	18	7	終結数	18	18	7	終結率	100.0%	100.0%	100.0%	<p>【活動目標】 地域支援者とつながりを持つケアマネジャーが増える。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援者とケアマネジャーとのつながりを支援したケースは8件あった。殆どが地域支援者からの相談がきっかけとなり、センターが地域支援者とケアマネジャーのつながりが必要なケースと判断し、それにあたっての支援を行った。 ・比較対象がないため、地域支援者とつながりを持つケアマネジャーが増えたかの評価を行うことはできなかった。 ・懇談会参加者を対象として行ったアンケートの結果から、「地域とのつながりや連携は必要」「少しずつでも連携に取り組んでいきたい」との回答が全体の9割以上を占めている（2-①）。このことから、地域支援者とのつながりが必要と考えているケアマネジャーが多数いることがわかった。 ・圏域の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーを対象としたアンケートでは、約半数が地域支援者と協力して支援しているケースがあると回答（3-①）。内訳として、民生委員が一番多いことがわかった（3-②）。 ・実際に地域支援者と協力して支援しているケースがありながらもきっかけは民生委員やセンターからの働きかけが多い。ケアマネジャー自身の気づきが基となり地域支援者とのつながりをケアマネジメントに活かすことができるケアマネジャーが増えるよう支援が必要と考える。 		
		R1.12	R2.12	R3.12																
	ケース数	18	18	7																
終結数	18	18	7																	
終結率	100.0%	100.0%	100.0%																	
<p>2 地域支援者とのつながりを考えるための懇談会を開催</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携ガイドの共有 ・民生委員からの体験談発表 ・町会、民生委員、在宅福祉委員、自治会等の活動について ・グループワーク <p>①地域とのつながり、連携をどのように考えるか</p> <table border="1"> <caption>地域とのつながり、連携をどのように考えるか</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域とのつながり、連携は必要</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>少しずつでも連携に取り組んでいきたい</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>大変そう、積極的に連携は考えられない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	地域とのつながり、連携は必要	67%	少しずつでも連携に取り組んでいきたい	27%	その他	6%	大変そう、積極的に連携は考えられない	0%										
回答内容	割合																			
地域とのつながり、連携は必要	67%																			
少しずつでも連携に取り組んでいきたい	27%																			
その他	6%																			
大変そう、積極的に連携は考えられない	0%																			
<p>3 居宅介護支援事業所に所属する、ケアマネジャーを対象としたアンケート</p> <p>①地域の方と協力して支援しているケースはあるか</p> <table border="1"> <caption>地域の方と協力して支援しているケースはあるか</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援しているケースがある</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>支援しているケースはない</td> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②協力して支援している地域の方の内訳</p> <table border="1"> <caption>協力して支援している地域の方の内訳</caption> <thead> <tr> <th>地域の方</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生委員</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>近隣住民</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>友人・知人</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬局</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スーパー</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	支援しているケースがある	45%	支援しているケースはない	55%	地域の方	人数	民生委員	9	近隣住民	6	友人・知人	5	家族	1	薬局	1	スーパー	1
回答内容	割合																			
支援しているケースがある	45%																			
支援しているケースはない	55%																			
地域の方	人数																			
民生委員	9																			
近隣住民	6																			
友人・知人	5																			
家族	1																			
薬局	1																			
スーパー	1																			

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>ケアマネジャー自ら地域支援者とつながる必要性に気づき、ケアマネジメントを実践できる。</p>	<p>1 ケアマネジャーが抱える課題の把握と相談しやすい体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の居宅介護支援事業所等に対し、アンケートを実施し、体制を把握したり、ケアマネジャーの業務実施状況、センターに対する意見や要望を把握できるよう努める。 ・懇談会や研修会、ケアマネジャーがセンターを来所した際等、顔を合わせて意見交換できる機会を持てるようにする。 ・必要に応じ、サービス担当者会議やカンファレンスへ参加する。 <p>2 ケアマネジャーの相談対応、後方支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援業務を委託する居宅介護支援事業所ごとに、センター職員を担当制とし対応する。 ・必要に応じて相談内容をセンター内で共有し、ケアマネジャーに対する支援の方向性を協議する。 ・自立支援や地域との関わり、社会資源の活用の視点を取り入れたケアマネジメントを実践することができるよう意識して支援する。 <p>3 地域支援者とのつながりをサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会や事例検討会を開催し、地域支援者とのつながりについて考える。どのような場面でつながりを持つと良いのか好例を共有する等して、地域支援者とのつながりをイメージして意識的にケアマネジメントを実践することができるよう働きかける。また、民生委員をインフォーマルサービスと位置づけたケアプランの作成について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援数 ・支援に至った要因 ・支援内容 ・年度ごとに行っている圏域ケアマネジャー向けアンケート ・介護予防サービス支援計画書 ・地域支援者とケアマネジャーがつながるための支援をした数

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
介護支援専門員に対する個別支援	<p>4 地域課題を検討する地域ケア会議 令和3年9月8日（水）14時～15時40分 会 場：千代台町会館 テーマ：高齢者等が自分らしく暮らせるまちづくりをめざして～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～ 目 的：高齢者支援のために地域支援者とケアマネジャーの連携の必要性があることを共有し、相談や支援のための連携の仕方を話し合う。 参加者：21名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の活動状況を知る機会となり連携を図ることで高齢者へのより良い支援につながるということを再確認することができた。又、ケアマネジャーの役割や介護保険制度に興味を持ち、ケアマネジャーとのつながりが必要だと思い、活動している民生委員が多数いることを知ることができた。今後、必要な場合は積極的に地域支援者と関わろうと思える機会になったと考えられる。
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	<p>1 合同ケアマネジメント研修 1回目：令和3年9月16日（木）14時～17時 2回目：令和3年9月17日（金）9時～12時 会 場：亀田交流プラザ テーマ：ICFの考え方を活用し、ケアプランを作成しよう 目 的：多くのケアマネジャーがICFの視点に立ち、本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントを行うことができるようになる。 実施方法：オンライン（zoom） 参加者（圏域内）：21名 参加事業所（圏域内）：居宅介護支援事業所8事業所、その他3事業所</p> <p>①ICF分類を用いた情報整理について</p> <p>②ニーズ、見通しのケアプランへの反映</p> <p>③今後のICF活用の活用をどのように考えるか</p>	<p>【活動目標】 地域のケアマネジャーが、ICFの考え方を活用したケアマネジメントを実践できるようになる。</p> <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の研修会におけるアンケート結果から、約6割のケアマネジャーがICFの考え方を活用したケアマネジメントが実践できていないと回答した（1-①、1-②）。しかし、今後のICFの活用について、「さらにICFの認識を深めながら積極的に活用していきたい」「全体ではないが、一部の視点を参考にしていきたい」との意見が約8割を占めた。実践できている割合は半数以下だが、実践で活用したいと前向きに考えているケアマネジャーが多数いることを把握できた（1-③）。 ICFを主体テーマとしての研修会は令和3年度で終了となるが、ICFの活用が定着するための支援（懇談会や研修会個別支援で取り入れたり等）を継続していく必要がある。 今後も、包括的・継続的ケアマネジメントの推進を図るため、ICFの考え方にに基づき、利用者自身の力や地域支援者の力を取り入れたケアマネジメントの実践を深めていく必要があると考えられる。

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
地域のケアマネジャーが利用者自身の力や地域の支援に着目し、ケアマネジメントを実践することができる。	<p>1 10センター合同ケアマネジメント研修の開催 テーマ（仮）：本人や地域の強みを活かしたケアプランを作成しよう 研修形態：講義、演習 内容（例）：①セルフケアやインフォーマルサービスを取り入れたケアマネジメントを実践するためのポイント ②ケアマネジメントの幅を広げるためのケアマネジャーの視点</p> <p>2 事例検討会、研修会等の開催 ・圏域ケアマネジメント研修の開催 ・圏域の主任ケアマネジャーと連携して開催する。 ・医療や障害等、他分野における専門職の参加を促す。相互の役割を知り、円滑に連携体制を図ることができるようにする。 ・ケアマネジャー同士の横つながり、お互いに支え合える関係の構築を支援する。</p> <p>3 ニュースレターの発行 ・ケアマネジャーが所属する事業所や施設に向けて、ケアマネジメントに活用できる情報や研修会等の周知を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメント研修開催時アンケート ・事例検討会、研修会等開催時アンケート ・個別支援の内容 ・介護予防サービス支援計画書

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	<p>2 圏域懇談会 令和3年8月2日（月）14時～15時30分 会 場：サンリフレ函館 テーマ：地域支援者とのつながりを考える 目 的：“民生委員とケアマネジャーの連携ガイド”を振り返り、地域支援者とのつながりを考える。民生委員とのつながりは、利用者だけでなくケアマネジャーにとっても強みとなり、ケアプランに位置づけできる社会資源であることの再確認を行う。</p> <p>実施方法：会場参加 参加者：11名 参加事業所：居宅介護支援事業所7事業所、その他1事業所</p>	
	<p>3 圏域事例検討会 令和3年12月9日（木）14時～15時30分 会 場：サンリフレ函館 テーマ：精神疾患の方の支援を考えよう 目 的：圏域のケアマネジャーを対象として実施したアンケートの中で、興味ある研修テーマとして“精神疾患”との回答が多かった。事例を通して、精神疾患を有する利用者の支援方法を振り返り、今後の支援に活かすことができる。</p> <p>実施方法：会場参加及びオンライン（zoom） 参加者：17名 参加事業所：居宅介護支援事業所9事業所、その他3事業所 ・アドバイザーとして、障害サービス事業所職員が参加</p>	

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価																					
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																				
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	1 個別ケースの検討を行う地域ケア会議	<p>【活動目標】 ケアマネジャーと地域支援者が連携して高齢者の支援を行うことができる。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援のために、ケアマネジャーと地域支援者を参集した回数は1回であった。認知症の人への支援について検討し、見守り体制を構築した。 ・地域支援者から「本人は元気そうだったので認知症を患っているとは思わなかった」「今後声掛けをしていきたい」という意見が聞かれた。地域支援者や関係機関が把握している本人の状況を共有することで、双方の連携に対する意識醸成につながった。 ・会議終了後、家族と地域支援者は連絡を取り合ったが、ケアマネジャーと地域支援者は、「会議で決めた本人の行動が見られた際は、連絡しようと思っている」と連絡は取り合っていない。会議を通じて、連携に対する意識醸成はできたが、会議で共有した連絡を取り合う場面が来ず、実際の連携には至らなかったため、目標は達成できなかった。 ・相談のタイミングを地域支援者と関係機関が共有することで、連携の回りやすさ、早期相談、対応につながる。次年度も取り組みを継続する。 <p>※令和4年3月にケアマネジャーと地域支援者が参加する地域ケア会議を1回開催した。</p> <p>【活動目標】 地域支援者や関係機関が町の状況を知り、地域の見守りについて考えることができる。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの振り返りは3回実施した。地域支援者より、「関わりを拒否する高齢者の見守りは工夫して対応しているが難しい」「相談する必要性が低いと判断した見守り対象者でも、見えない課題があることを知った」等の意見があり、参加者は町の見守り状況を知ることができた。又、関係機関より、「一機関で対応が難しい場合は、地域支援者も含め、関係機関が協働して支援したい」という意見があり、地域の見守り体制について検討し、目標は 																				
	①開催状況 (回,%)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>50.0%</td> <td>66.7%</td> <td>66.7%</td> </tr> </tbody> </table>			R1.12	R2.12	R3.12	目標数値	6	6	6	開催回数	3	4	4	達成率	50.0%	66.7%	66.7%				
			R1.12	R2.12	R3.12																	
	目標数値		6	6	6																	
	開催回数		3	4	4																	
	達成率		50.0%	66.7%	66.7%																	
	②参加者人数 本人、家族、民生委員、町会役員、在宅福祉委員、牛乳販売店員、ケアマネジャー、介護サービス事業所、行政（高齢福祉課、生活支援課、企業局料金課）																					
	③検討した個別課題																					
	<table border="1"> <tbody> <tr><td>日常生活に関する課題</td><td>2</td></tr> <tr><td>認知症や精神疾患による問題行動</td><td>2</td></tr> <tr><td>健康管理に関する課題</td><td>5</td></tr> <tr><td>サービス利用に関する課題</td><td>1</td></tr> <tr><td>経済面の課題</td><td>3</td></tr> <tr><td>家族の課題</td><td>4</td></tr> <tr><td>支援者との関係に関する課題</td><td>1</td></tr> <tr><td>地域との関係についての課題</td><td>2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>		日常生活に関する課題	2	認知症や精神疾患による問題行動	2	健康管理に関する課題	5	サービス利用に関する課題	1	経済面の課題	3	家族の課題	4	支援者との関係に関する課題	1	地域との関係についての課題	2	その他	1		
	日常生活に関する課題		2																			
	認知症や精神疾患による問題行動		2																			
	健康管理に関する課題		5																			
	サービス利用に関する課題		1																			
	経済面の課題		3																			
	家族の課題		4																			
	支援者との関係に関する課題		1																			
	地域との関係についての課題		2																			
	その他		1																			
	④検討した支援内容																					
<table border="1"> <tbody> <tr><td>地域における見守り体制の構築</td><td>6</td></tr> <tr><td>関係機関における見守り体制および支援体制の構築</td><td>1</td></tr> <tr><td>サービス等利用調整</td><td>2</td></tr> <tr><td>サービス・制度等の拡充</td><td>1</td></tr> <tr><td>地域住民への周知</td><td>0</td></tr> <tr><td>家族への支援</td><td>1</td></tr> <tr><td>健康管理に関する支援</td><td>0</td></tr> <tr><td>関係機関のネットワーク構築</td><td>1</td></tr> <tr><td>地域のネットワーク構築</td><td>4</td></tr> <tr><td>地域づくり</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	地域における見守り体制の構築	6	関係機関における見守り体制および支援体制の構築	1	サービス等利用調整	2	サービス・制度等の拡充	1	地域住民への周知	0	家族への支援	1	健康管理に関する支援	0	関係機関のネットワーク構築	1	地域のネットワーク構築	4	地域づくり	0	その他	1
地域における見守り体制の構築	6																					
関係機関における見守り体制および支援体制の構築	1																					
サービス等利用調整	2																					
サービス・制度等の拡充	1																					
地域住民への周知	0																					
家族への支援	1																					
健康管理に関する支援	0																					
関係機関のネットワーク構築	1																					
地域のネットワーク構築	4																					
地域づくり	0																					
その他	1																					
⑤把握した地域課題																						
<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動の対象者について、担当のケアマネジャーがわからないことで、活動に困難さを感じている民生委員がいる。 ・支援が必要な高齢者は見守り活動の対象者から外れている高齢者であることが多い。 ・早期介入、本人の認知症悪化予防、家族の介護負担軽減のためには、早期に地域支援者と関係機関が協働して支援することが大切である。 																						
⑥携わった職員数 2～3人/回																						

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>高齢者の支援について、地域支援者と関係機関が互いに相談するタイミングについて検討することができる。</p>	<p>1 地域支援者と関係機関の連携について検討する地域ケア会議の開催</p> <p>【内容】</p> <p>①地域支援者による見守りが必要なケースについて、地域支援者と関係機関が互いに相談するタイミングを検討し、問題が生じた際に、タイムリーに支援できるようにする。</p> <p>②地域支援者と関係機関の連携が必要だったケースについて、振り返りを行う。どのタイミングで相談すると良かったかを検討し、今後の高齢者の支援に活かすことができるようにする。</p> <p>※個別ケースの検討を行う地域ケア会議開催時には、問題が複雑化する要因に関するリーフレット等を作成し、会議時に配布、話題とし、地域課題の発見につながるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数と計画達成率 ・検討した個別課題 ・検討した支援内容 ・発見した地域課題 ・参加者状況 ・参加者からセンターへ新規相談件数

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
個別ケースの検討を行う地域ケア会議		<p>達成することができた。 参加した地域支援者から7回、関係機関から1回、会議後に新規相談があり、早期対応につながったケースがあった。</p> <p>※令和4年3月に個別ケースの振り返りを1回開催した。</p> <p>【活動目標】 ケアマネジャーが専門職からの意見を取り入れ、対象者の自立した生活について考え今後の支援に活かすことができる。</p> <p>【評価】 ・開催を予定していた対象者が入院し、開催に至らなかった。</p>

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和3年度 活動評価																																																											
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																										
地域課題の検討を行う地域ケア会議	<p>1 地域課題の検討を行う地域ケア会議</p> <p>①開催状況</p> <p style="text-align: right;">(回,%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②テーマ、参加機関、今後の方向性等</p> <p>1) 令和3年9月8日</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>高齢者等が自分らしく暮らせるまちづくりをめざして ～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>民生委員18人、ケアマネジャー3人</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>千代台町会館</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>・地域支援者とケアマネジャーが定期的話し合う機会を持ち、相互の連携ができたか、新たな課題はないか検討する。</td> </tr> </table> <p>※地域づくり、資源開発への発展 なし</p> <p>2) 令和3年9月29日</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして ～住民、地域支援者、まちの相談機関等のつながり～</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>民生委員1人、町会役員3人、在宅福祉委員1人、その他1人</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>松風町会館</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>・地域支援者と相談機関が定期的話し合う機会を持ち、連携を強化する。 ・集い場づくりについて、検討する。</td> </tr> </table> <p>※地域づくり、資源開発への発展 なし</p> <p>3) 令和3年12月12日</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>地域がつながる ～楽しいまちづくり会議～</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>民生委員6人、町会役員2人、在宅福祉委員3人、ケアマネジャー1人、医療機関1人</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>松川町会館</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>・集い場の開催に向け、共同体メンバーで話し合いを実施する。</td> </tr> </table> <p>※地域づくり、資源開発への発展 あり</p> <p>③検討した地域課題</p> <table border="1"> <tr> <td>地域の高齢者が抱える課題</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地域住民の理解についての課題</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域の互助力の低下</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>地域福祉の担い手に関する課題</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>関係機関の課題</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>地域の支え合い・介護予防活動に関する課題</td> <td>6</td> </tr> </table>		R1.12	R2.12	R3.12	目標数値	3	3	3	開催回数	3	3	3	達成率	100%	100%	100%	テーマ	高齢者等が自分らしく暮らせるまちづくりをめざして ～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～	参加者	民生委員18人、ケアマネジャー3人	会場	千代台町会館	職員	5人	今後の方向性	・地域支援者とケアマネジャーが定期的話し合う機会を持ち、相互の連携ができたか、新たな課題はないか検討する。	テーマ	高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして ～住民、地域支援者、まちの相談機関等のつながり～	参加者	民生委員1人、町会役員3人、在宅福祉委員1人、その他1人	会場	松風町会館	職員	4人	今後の方向性	・地域支援者と相談機関が定期的話し合う機会を持ち、連携を強化する。 ・集い場づくりについて、検討する。	テーマ	地域がつながる ～楽しいまちづくり会議～	参加者	民生委員6人、町会役員2人、在宅福祉委員3人、ケアマネジャー1人、医療機関1人	会場	松川町会館	職員	4人	今後の方向性	・集い場の開催に向け、共同体メンバーで話し合いを実施する。	地域の高齢者が抱える課題	6	地域住民の理解についての課題	1	地域の互助力の低下	9	地域福祉の担い手に関する課題	7	関係機関の課題	3	地域の支え合い・介護予防活動に関する課題	6	<p>【活動目標】</p> <p>ケアマネジャーと地域支援者が連携して高齢者の支援を行うことができる。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと地域支援者の連携についての検討は1回実施した。ケアマネジャーの業務についての講話や事例検討を行い、互いの役割は理解できた。又、新人の民生委員が多く、活動経験がなく、悩みを抱えていることを共有した。居宅介護支援事業所のケアマネジャーから、「民生委員、これほど地域の高齢者を把握して、支援していると思わなかった」「民生委員の疑問に対応できるようにしたいと思った」という感想があったように、連携に対する意識づけはできたが、ケアマネジャーと地域支援者が連携した支援の実践に及ばなかった。 ・多くの地域支援者がケアマネジャー等の関係機関と連携することで、困難さが軽減され、見守り活動を継続できるよう、他の町での開催を検討する。 <p>【活動目標】</p> <p>住民や地域支援者、介護サービス事業所等が高齢者の見守りや支え合いについて関心もち、同じ町に住む同士の馴染みの関係づくりについて考える。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りや支え合いのための地域のつながりについて考えるケア会議を開催した。 ・町の高齢化率や独居高齢者率が高く、少数の地域支援者が複数の役割を担い活動している現状や、互いの活動や悩み等を知り、参加者は、見守りや支え合いについて、これまで以上に関心をもつことができ、地域支援者同士の連携の必要性を共有することはできた。住民や地域支援者同士がお互いを気にし合える関係づくりを検討するには至らなかった。 ・令和4年度は、住民と地域支援者等が参集し、高齢者の見守り体制や支え合いについて検討する。
		R1.12	R2.12	R3.12																																																								
	目標数値	3	3	3																																																								
	開催回数	3	3	3																																																								
	達成率	100%	100%	100%																																																								
	テーマ	高齢者等が自分らしく暮らせるまちづくりをめざして ～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～																																																										
	参加者	民生委員18人、ケアマネジャー3人																																																										
	会場	千代台町会館																																																										
	職員	5人																																																										
	今後の方向性	・地域支援者とケアマネジャーが定期的話し合う機会を持ち、相互の連携ができたか、新たな課題はないか検討する。																																																										
テーマ	高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして ～住民、地域支援者、まちの相談機関等のつながり～																																																											
参加者	民生委員1人、町会役員3人、在宅福祉委員1人、その他1人																																																											
会場	松風町会館																																																											
職員	4人																																																											
今後の方向性	・地域支援者と相談機関が定期的話し合う機会を持ち、連携を強化する。 ・集い場づくりについて、検討する。																																																											
テーマ	地域がつながる ～楽しいまちづくり会議～																																																											
参加者	民生委員6人、町会役員2人、在宅福祉委員3人、ケアマネジャー1人、医療機関1人																																																											
会場	松川町会館																																																											
職員	4人																																																											
今後の方向性	・集い場の開催に向け、共同体メンバーで話し合いを実施する。																																																											
地域の高齢者が抱える課題	6																																																											
地域住民の理解についての課題	1																																																											
地域の互助力の低下	9																																																											
地域福祉の担い手に関する課題	7																																																											
関係機関の課題	3																																																											
地域の支え合い・介護予防活動に関する課題	6																																																											

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>地域支援者が相談のタイミングや関係機関との連携について検討し、困った時に関係機関に相談することができる。</p> <p>住民、地域支援者が協働して、お互いに見守りあえるしくみづくりについて検討できる。</p>	<p>1 地域課題の検討を行う地域ケア会議</p> <p>①【テーマ】 「地域支援者と関係機関が連携する、地域の見守りについて」</p> <p>【参集者】 民生委員と関係機関（居宅介護支援事業所のケアマネジャー、障がい相談事業所、医療機関、行政等）</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と他機関とが連携した成功事例を用い、民生委員が関係者と連携することで、困難さが軽減され、高齢者の見守り活動ができると実感できる内容とする。 <p>②【テーマ】 「住民・地域支援者が連携する、地域の見守りについて」</p> <p>【参集者】 住民、地域支援者</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守っている高齢者の問題が複雑化する前にセンター等の相談機関へ相談するタイミングについて検討する。 (問題が複雑化する要因に関してリーフレット等を作成、活用) ・高齢者の支援について、地域支援者同士で情報交換し、協議できる内容とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数と計画達成率 ・検討した地域課題 ・検討した支援内容 ・地域づくり、資源開発への発展の有無 ・参加者状況 ・参加した地域支援者が関係機関に相談した経験（アンケート実施） ・参加した地域支援者からセンターへの新規相談件数

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数，内容，実施方法等）	活動目標に対する評価
地域課題の検討を行う地域ケア会議		<p>【活動目標】 健康づくり活動に取り組みれていない町に活動の場ができ、社会交流や介護予防に取り組む高齢者が増える。</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集い場の開催について検討した地域ケア会議においては、孤立、閉じこもりの高齢者がいることが課題であり、社会交流や介護予防活動に取り組むことが大切であると意識をもつことはできた。しかし、活動の場づくりや高齢者の参加までには至らず、目標は達成できなかった。 ・町会館の他に、集合住宅地域交流スペースや空き家を活動の場にできないか、また、商店街をもつ町の強みを活かし喫茶店や洋品店店主を講師に招致するのはどうか等の意見がでた。 <p>健康づくり活動の場の立ち上げや、高齢者の参加促進等に関しては、引き続き、生活支援体制整備事業で取り組む。</p>

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
第2層生活支援 コーディネーター 活動	1 地域づくり活動 ①地域の見守り・支え合いや、地域と関係機関との連携について考える。 1) 松風町 ○懇談会 (令和3年9月6日 13時30分～15時)	【活動目標】 困りごとを抱えた高齢者の早期発見や支援について、ネットワークを構築した機関と共に検討できる。 【評価】 ・地域支援者とケアマネジャー等が地域ケア会議において、互いの役割や活動等を説明し高齢者支援について検討することができ、目標は達成された。 ・高齢者に困りごとがあっても気づきづらいのは、地域支援者同士が協議する機会が少ないこと、外出自粛が影響し見守り体制が脆弱化したこと、高齢者がSOSを発信しない、又はできない（相談先がわからない）ことが要因となっていると地域支援者と関係機関が共有した。 ・「町会、在宅福祉委員、民生委員等が活動状況や悩み等、お互いに理解し、話ができれば、高齢者の困りごとを早く気づきやすくなる」という地域課題があげられた。 ・地域支援者と相談機関、専門職等が連携し早期対応ができるよう、研修会や事例検討会等の開催をしてほしい、との要望があがった。 ・相談のタイミングに焦点をあてた話し合いをする等、地域支援者と相談機関等が連携を強化できる取り組みを、令和4年度は他地域で展開する。
	内容	松風町高齢者等の見守り活動を考える
	参加者	松風町会 2名
	会場	地域包括支援センターこん中央
	○地域ケア会議 (令和3年9月29日 13時30分～15時)	
	テーマ	高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして ～住民、地域支援者、まちの相談機関等のつながり～
	参加者	松風町会 3名 松風町在宅福祉委員 1名 松風町民生委員 1名
	会場	松風町会館
	2) 松川町 ○ 懇談会、意見交換会 : 会場/松川町会館 (令和3年7月29日 10時～11時)	
	テーマ	松川町のふれあい・助け合い活動について
	参加者	松川町民生委員1名 松川町在宅福祉委員1名
	意見等	いろいろな年代の住民や施設の方などの「ふれあい」を目的に集まる機会があればよい。
	(令和3年8月18日 13時30分～14時25分)	
	テーマ	松川町の住民主体の助け合い活動について
	参加者	松川町会 1名
意見等	「住民主体の集い場」をめざしたい。 「町会（館）開放の日」を設けてはどうか。	
(令和3年10月23日 10時30分～11時30分)		
テーマ	松川町の助け合い活動について	
参加者	松川町民生委員4名 松川町在宅福祉委員4名	
会場	松川町会館	
意見等	新たな集い場があれば、高齢者の参加の機会が増え、住民どうしの交流が活発になる。 集い場の参加により見守りができる。	
(令和3年11月4日 18時30分～19時30分)		
テーマ	松川町の助け合い活動について	
参加者	松川町会 12名	
意見等	町会と民生委員・在宅福祉委員が互いの役割や高齢者への関わりを話し合えればよい。	
○ 地域ケア会議 (令和3年12月11日 13時30分～15時10分)		
テーマ	みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくり	
参加者	松川町会2名 民生委員6名 在宅福祉委員3名 深瀬医院1名 居宅介護支援事業所1名	
会場	松川町会館	
	【活動目標】 健康づくり活動に取り組みされていない町に活動の場ができ、社会交流や介護予防に取り組み高齢者が増える。 【評価】 ・新たな「活動の場」があることで、これまで姿をみせることの少なかった高齢者の様子を見る（見守りの）機会になったり、多世代交流のきっかけになることも期待できるのではないかとの意見があった。 ・「活動の場」は、地域支援者の理解や協力のもと、住民が主体的に取り組めるように、教育機関等の他機関との連携を求めたり、既に「活動の場」を展開する団体から継続するための工夫を聞く等し、開催する町ならではの取り組みができるよう検討していくことを確認した。	

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>困りごとを抱えた高齢者の早期発見や支援について、住民、地域支援者、関係機関が顔を合わせ、相談のタイミングを検討することができる。</p>	<p>1 地域関係機関、地域密着型サービス事業所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会、商店街組合等の行事や老人クラブ活動への参加 ・在宅福祉委員会の事業（ふれあい会食会、研修会）への参加 ・民児協定例会への参加 ・運営推進会議の出席 ・司法、障がい、医療分野との研修会・懇談会等の開催および参加 ・まちづくり懇談会の開催 <p>地域支援者の体制、見守り、集い場づくり既存の活動の場を話題にする。（住民、地域支援者、関係機関等を参集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の開催 <p>2 地域課題の検討を行う地域ケア会議の開催</p> <p>①【テーマ】「住民・地域支援者が連携する、地域の見守りについて」</p> <p>【参集者】 住民・地域支援者</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守る高齢者等の問題が複雑化する前にセンター等の相談機関へ相談するタイミングについて協議する。 ※問題が複雑化する要因に関してリーフレット等を作成し活用する。 <p>②【テーマ】</p> <p>「地域支援者と関係機関が連携する、地域の見守りについて」</p> <p>【参集者】</p> <p>民生委員と関係機関（居宅介護支援事業所のケアマネジャー、障がい相談事業所、医療機関、行政等）</p> <p>【内 容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と他機関とが連携した成功事例を用い、民生委員が関係者と連携することで、困難さが軽減され、高齢者の見守り活動ができると実感できる内容とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関（新規再掲） ・検討回数 ・検討内容 ・検討した機関 ・参加した地域支援者、関係機関からの相談件数と内容 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数と計画達成率 ・検討した地域課題 ・検討した支援内容 ・地域づくり、資源開発への発展の有無 ・参加者状況 ・参加した地域支援者が関係機関に相談した経験（アンケート実施） ・参加した地域支援者からセンターへの新規相談件数
<p>高齢者等が、社会参加や助け合い活動に関心を持ち、身近にある活動の場を知って参加を検討することができる。</p>	<p>3 社会参加や助け合い活動の重要性について高齢者に周知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の関心が高い介護予防をテーマとし、社会参加や助け合い活動の重要性につながる内容とする。 ・健康づくりの必要性、取り組み方法について、広報紙への掲載やリーフレットを作成し、元気サロン参加者や総合相談で関わった高齢者、介護予防支援対象者へ配布する。 ・新たに把握した社会資源はセンター職員間で共有し、総合相談等での情報提供や介護予防ケアマネジメントにおいて活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載回数 ・掲載内容 ・配布先 ・出前講座の提案回数および実施回数 ・出前講座の参加者数 ・参加者の声
<p>ふれあい・助け合い活動の場ができ、社会交流や介護予防に取り組む高齢者が増える。</p>	<p>4 ふれあい・助け合い活動の新規立ち上げ（松川町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域支援共同体メンバーによる協議会を開催する。 ② 「ふらっと集まれる場（案）」の開催 ③ 開催時の住民アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・参加者の声 ・新規立ち上げの有無

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和3年度 活動評価																																		
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																	
第2層生活支援 コーディネーター 活動	<p>3) 中島町、千代台町、堀川町 ○地域ケア会議 (令和3年9月8日 14時～15時40分)</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>第8方面民生児童委員 18名 居宅介護支援事業所 3名</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>千代台町会館</td> </tr> </table>	テーマ	高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～	参加者	第8方面民生児童委員 18名 居宅介護支援事業所 3名	会場	千代台町会館	<p>・地域支援者から選抜された数名による共同体が中心となり、「活動の場」を令和4年度に開催することを決定した。</p> <p>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たな「活動の場」の立ち上げには至らなかった。令和4年度は、「活動の場」の立上げ支援や参加を促す取り組みをする。</p> <p>【活動目標】 認知症を正しく理解し、地域の見守りや支え合いの大切さを意識できる地域住民が増える。</p> <p>【評価】</p> <p>・「おれんじの木」の開催、出前講座や広報紙等による周知により、認知症や見守りに関する理解が得られ、目標は達成された。</p> <p>・口の健康から認知症予防することの理解をし、参加者が共有することで、介護予防に取り組む意識を持つことができた。</p> <p>※「シェアトークカフェおれんじの木」は、令和4年度から、認知症地域支援・ケア向上事業に移行する。</p> <p>【活動目標】 休止している元気サロンが、活動を再開することができる。</p> <p>元気サロン参加者が運動機能向上のための取り組みを継続しつつ、健口づくりに取り組むことができる。</p> <p>【評価】</p> <p>・圏域で活動する10サロンのうち、4サロンがコロナ感染症が影響し休止、1サロンは活動終了し、目標は達成できなかった。</p> <p>・休止中のサロンのリーダーは、運動・口の健康づくりを内容としたセンターの広報紙を配布し見守り活動をした。</p> <p>・サロン活動において、歯科衛生士による健口講話を実施し、参加者は口腔から介護予防や健康づくりに取り組む意識を持つことができた。</p> <p>・1サロンは会場の施設が使用不可となり、参加意欲が低下したことで退会者が続出したため、活動を終了した。同様の状況にある別サロンでは、地域支援者から、集合住宅交流スペース使用の提案あり、令和4年春から使用可能となった。</p> <p>・地域のサロン活動を知らない高齢者が多く、また、サロン参加人数が減少している。新たな参加者を増やすことにむけた取り組みが必要である。</p>																											
	テーマ	高齢者等が自分らしく安心して暮らせるまちづくりをめざして～地域とケアマネジャーと包括がつながる仕組みづくり～																																	
	参加者	第8方面民生児童委員 18名 居宅介護支援事業所 3名																																	
	会場	千代台町会館																																	
	<p>②シェアトークカフェおれんじの木 主催：おれんじの木旗揚げ隊 [地域住民、障害相談支援事業所、介護施設 介護サービス事業所、居宅介護支援事業所] 第4回開催 (令和3年6月23日 13時30分～15時)</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>認知症のある家族の介護について（体験談）</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>ケアプランセンター愛の羽 ケアマネジャー 宮下良子氏</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>地域住民 12名 就労継続支援B型事業所職員 1名</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>ふらっとDaimon</td> </tr> </table>	テーマ	認知症のある家族の介護について（体験談）	講師	ケアプランセンター愛の羽 ケアマネジャー 宮下良子氏	参加者	地域住民 12名 就労継続支援B型事業所職員 1名		会場	ふらっとDaimon																									
	テーマ	認知症のある家族の介護について（体験談）																																	
	講師	ケアプランセンター愛の羽 ケアマネジャー 宮下良子氏																																	
	参加者	地域住民 12名 就労継続支援B型事業所職員 1名																																	
	会場	ふらっとDaimon																																	
	<p>第5回開催 (令和3年10月27日 13時30分～15時)</p> <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>お口の健康から認知症や感染症を予防</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>道南圏域在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 杉本景子氏</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>地域住民 8名 就労継続支援B型事業所職員 1名</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>ふらっとDaimon</td> </tr> </table>	テーマ	お口の健康から認知症や感染症を予防	講師	道南圏域在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 杉本景子氏	参加者	地域住民 8名 就労継続支援B型事業所職員 1名		会場	ふらっとDaimon																									
テーマ	お口の健康から認知症や感染症を予防																																		
講師	道南圏域在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 杉本景子氏																																		
参加者	地域住民 8名 就労継続支援B型事業所職員 1名																																		
会場	ふらっとDaimon																																		
<p>③自主活動支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自主サークル名</th> <th>支援回数</th> <th>参加者数(平均)</th> <th>職員数(平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>元気サロン(堀川町)</td> <td>10回</td> <td>13.3人</td> <td>1.8人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>びんびんサロン(千歳町)</td> <td>10回</td> <td>9.4人</td> <td>1.2人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>元気 de サロン in 新川</td> <td>4回</td> <td>11.5人</td> <td>1.5人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>元気 de サロン in 上新川</td> <td>5回</td> <td>5.6人</td> <td>1.2人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>元気 de サロン in 千代台</td> <td>2回</td> <td>12.5人</td> <td>1.5人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>元気 de サロン in 金堀</td> <td>0回</td> <td>8.0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		自主サークル名	支援回数	参加者数(平均)	職員数(平均)	1	元気サロン(堀川町)	10回	13.3人	1.8人	2	びんびんサロン(千歳町)	10回	9.4人	1.2人	3	元気 de サロン in 新川	4回	11.5人	1.5人	4	元気 de サロン in 上新川	5回	5.6人	1.2人	5	元気 de サロン in 千代台	2回	12.5人	1.5人	6	元気 de サロン in 金堀	0回	8.0人	0人
	自主サークル名	支援回数	参加者数(平均)	職員数(平均)																															
1	元気サロン(堀川町)	10回	13.3人	1.8人																															
2	びんびんサロン(千歳町)	10回	9.4人	1.2人																															
3	元気 de サロン in 新川	4回	11.5人	1.5人																															
4	元気 de サロン in 上新川	5回	5.6人	1.2人																															
5	元気 de サロン in 千代台	2回	12.5人	1.5人																															
6	元気 de サロン in 金堀	0回	8.0人	0人																															
<p>・「元気 de サロンの場」 新型コロナウイルス感染症の拡大により休止中。 的場町老人クラブ（月一会）は開催。</p> <p>・「元気 de サロン松濤」 新型コロナウイルス感染症の拡大により休止中。 会場である高齢者施設での再開は困難。</p> <p>・「元気 de サロン in 明和園」 会場である施設での再開困難であり参加者の高齢化のため、活動は終了した。</p> <p>・「元気 de サロン in 新川」「元気 de サロン大縄」 活動休止中はリーダーがセンター広報紙を参加者宅に配布し見守り活動をした。新型コロナウイルス感染症のまん延状況みつつ継続。</p>																																			

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>休止している元気サロンが、活動を再開することができる。</p> <p>元気サロン活動を知って新たに参加する高齢者が増える。</p>	<p>5 元気サロンの継続支援 自主活動支援（9グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、休止している元気サロンが再開できるように、令和3年度に把握した課題を基に新たな会場の検討等を参加者と共に行う。 ・休止している元気サロンの参加者が、休止していても健康づくり活動に取り組むことができる、かつ参加者同士で見守り合いができるように健康づくりに関するリーフレットの配布をリーダー等と検討する。 ・「元気サロン」について、町会覧やリーフレット配布等により周知をし、高齢者や活動に興味あるボランティア等の参集を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援回数、支援内容 ・参加者数 ・支援した職員数 ・住民同士の助け合い、介護予防に関する参加者の声

(7) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和3年度 活動評価																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																
第2層生活支援 コーディネーター 活動	<p>2 ネットワーク構築</p> <p>①ネットワーク構築機関数</p> <p style="text-align: right;">(R3.12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機関名</th> <th colspan="2">機関数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新規（再）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生委員（方面）</td> <td>4機関</td> <td>0機関</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>2機関</td> <td>0機関</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>2機関</td> <td>1機関</td> </tr> <tr> <td>老人クラブ</td> <td>1機関</td> <td>1機関</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所</td> <td>2機関</td> <td>0機関</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>0機関</td> <td>0機関</td> </tr> <tr> <td>商業施設（コンビニ等）</td> <td>17機関</td> <td>17機関</td> </tr> <tr> <td>金融機関</td> <td>1機関</td> <td>1機関</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13機関</td> <td>10機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他：高齢者施設、障がい事業所、自動車学校 民間企業、ホテル等</p>	機関名	機関数		新規（再）		民生委員（方面）	4機関	0機関	町会	2機関	0機関	在宅福祉委員会	2機関	1機関	老人クラブ	1機関	1機関	介護保険事業所	2機関	0機関	職能団体・連協	0機関	0機関	商業施設（コンビニ等）	17機関	17機関	金融機関	1機関	1機関	その他	13機関	10機関	
	機関名		機関数																															
		新規（再）																																
	民生委員（方面）	4機関	0機関																															
	町会	2機関	0機関																															
	在宅福祉委員会	2機関	1機関																															
	老人クラブ	1機関	1機関																															
	介護保険事業所	2機関	0機関																															
	職能団体・連協	0機関	0機関																															
	商業施設（コンビニ等）	17機関	17機関																															
金融機関	1機関	1機関																																
その他	13機関	10機関																																
	<p>②ネットワーク構築回数</p> <p style="text-align: right;">(R3.12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">回数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新規（再）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会（開催・参加）</td> <td>4回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>民児協定例会</td> <td>8回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>町会行事</td> <td>2回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>在宅ふれあい事業</td> <td>0回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>27回</td> <td>27回</td> </tr> </tbody> </table>	種別	回数		新規（再）		懇談会（開催・参加）	4回	2回	民児協定例会	8回	0回	町会行事	2回	0回	在宅ふれあい事業	0回	0回	地域密着運営推進会議	1回	0回	その他	27回	27回										
種別	回数																																	
	新規（再）																																	
懇談会（開催・参加）	4回	2回																																
民児協定例会	8回	0回																																
町会行事	2回	0回																																
在宅ふれあい事業	0回	0回																																
地域密着運営推進会議	1回	0回																																
その他	27回	27回																																
	<p>③地域課題の検討を行う地域ケア会議でのネットワーク構築</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>第8方面民生児童委員協議会 松風町会、松風町在宅福祉委員会 松川町、松川町在宅福祉委員会、深瀬医院 居宅介護支援事業所 共愛会病院、 ケアプランセンターあんしん松風、 居宅介護支援事業所ふかせ 障害者相談支援事業所ばすてる、函館中央病院</p> </div>																																	
	<p>3 地域の支え合いや介護予防にかかる啓発活動</p> <p style="text-align: right;">(回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>社会資源</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>出前講座・講師派遣の依頼機関 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>元気deサロン新川、元気deサロン千歳</p> </div> </p>		R1.12	R2.12	R3.12	介護予防	11	3	1	地域の見守り	4	2	3	社会資源	4	1	1																	
	R1.12	R2.12	R3.12																															
介護予防	11	3	1																															
地域の見守り	4	2	3																															
社会資源	4	1	1																															

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標

イ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症地域支援推進員としての活動	<p>1 認知症初期集中支援チームとしての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月25日（金） 亀田交流プラザ 令和3年度認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修参加 <p>2 認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年5月17日（月） 10時30分～12時 （株）エラン函館営業所職員 3名参加 令和3年9月13日（水） 10時00分～11時30分 多機能型事業所あすらら 17名参加 令和4年2月2日（水） 13時5分～14時 大森浜小学校 5年生 66名参加 <p style="text-align: center;">計 3回 開催</p> <p>▶民間企業、小学生を対象とし、開催することができた。大森浜小学校での開催は今回で2回目となり、地域児童への啓発を図ることができた。</p> <p>3 認知症地域支援推進員連絡会活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月22日（木） 10時～11時30分 会場/総合福祉センター 第1回連絡会 令和3年10月15日（木） 10時30分～11時30分 会場/総合福祉センター 第2回連絡会 令和3年5月20日（木） 13時15分～14時30分 他職種研修会打ち合わせへの参加 令和3年9月21日（火） 18時～ 世界アルツハイマーデー2021inはこだて 五稜郭タワーライトアップカウントダウンセレモニーへの参加。 <p>▶函館市認知症カフェ企画運営研修会は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により中止となった。</p> <p>▶令和3年度から、世界アルツハイマーデーへの協賛イベントを実施。認知症の正しい理解に向けて、市民が興味を持つためのきっかけづくりができた。</p> <p>4 知ってあしん認知症ガイドブック（認知症ケアパス）の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月広報紙（令和3年度第2号）にて認知症ガイドブックに関する記事を掲載し、周知を図った。 <p>5 認知症カフェ「おれんじの木」の開催</p> <p>主催：「おれんじの木」旗揚げ隊 （地域住民、障害相談支援事業所、居宅介護支援事業所、介護施設、介護サービス事業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年6月23日（水） 13時30分～15時 ふらっとDaimon 講師：ケアプランセンター愛の羽 ケアマネジャー 宮下良子氏 テーマ：認知症のある家族の介護体験談 12名参加 令和3年10月27日（水） 13時30分～15時 ふらっとDaimon 講師：道南圏域在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 杉本景子氏 テーマ：お口の健康から認知症予防や感染症予防をしましょう！ 8名参加 	

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>地域支援者が認知症の正しい知識（特に初期症状）を得る機会を持てる。</p>	<p>1 多職種協働、関係者の連携を図るための取り組み</p> <p>①認知症初期集中支援チームとしての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症と疑われる方への早期対応 ・ 地域住民や関係機関・団体等に対し、支援チームの役割や機能について広報活動や協力依頼等を行い、普及啓発の推進に取り組む。 <p>②認知症ケアに携わる他職種協働のための研修会の開催</p> <p>2 支援体制を構築するための活動</p> <p>①認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間企業、町会、一般市民、医療機関、学校等を対象に開催する。 ・ 認知症の初期症状や接し方に重点を置いた内容とし、早期に異変に気づき、早期支援につながるにより、認知症の人が安心して在宅生活を続けられることを理解できる。 ・ これまで講座を開催した機関を対象として、講座での学びを活かすことができているか等のモニタリングを実施する。 <p>②普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「知ってあんしん認知症ガイドブック」（函館市認知症ケアパス）の活用（出前講座や認知症サポーター養成講座等） ・ 広報紙による情報発信、認知症サポーター養成講座の開催についてのリーフレットを作成、配布する。 <p>③地域ケア会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の症状が進行した場合、地域との関わりに支障が出たり、家族にかかる介護負担が大きくなり、自宅での生活が困難化する場合がある。認知症の人が地域で生活していくために、有する課題の解決に向けて関係者で検討する。 <p>3 認知症の人やその家族を支援するための活動</p> <p>①認知症カフェ「おれんじの木」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人や家族が、気軽に立ち寄り、思いを共有したり、人との関わりを持つことで、地域からの孤立を防ぐことができるようにする。 ・ 圏域内各所で開催し、地域のより多くの住民が参加できるようにする。 <p>認知症予防や早期発見の大切さ、地域での見守りの重要性について周知を行い、地域住民の認知症に対する理解を促進し、認知症の人やその家族が住みやすい地域づくりを目指す。</p> <p>②総合相談、権利擁護ケースとしての対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援の支援数 ・ 認知症サポーター養成講座の開催数 ・ 認知症カフェの開催数 ・ 出前講座の開催数 ・ 本人や家族、地域の方からの相談数

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症地域支援推進員としての活動	<p>▶ 令和4年1月26日に令和3年度3回目を開催する予定だったが（テーマは運転免許返納について）、新型コロナウイルス感染症の流行により中止となった。</p> <p>6 認知症地域支援推進員研修及び認知症に関する研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年7月13日（火）～14日（水）（オンライン参加） 令和3年度認知症地域支援推進員研修（新任） ・ 令和3年7月15日（木）～16日（金）（オンライン参加） 令和3年度認知症地域支援推進員研修（現任） ・ 令和4年1月28日（金）13時30分～16時40分 会場/渡島総合振興局 チームオレンジ・コーディネーター研修 <p>7 本人・家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談数 84件 ・ 権利擁護としての支援 30件 ・ 地域ケア会議の開催 3件 <p>①令和3年7月8日（木）14時～15時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「令和2年12月21日開催『Kさんが穏やかに過ごすために』の振り返り」 参加者5名（民生委員、町会役員、ケアマネジャー、生活支援課） <p>②令和3年10月20日（水）16時30分～18時30分</p> <ul style="list-style-type: none"> 「娘と約束していることを忘れないようにしてこの家で暮らしたい」 参加者7名（本人、家族、民生委員、町会役員、在宅福祉委員、ケアマネジャー） <p>③令和3年12月22日（水）13時30分15時</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Bさんの認知症・生活困窮を原因とする虐待ケースを通し、地域でできること」 参加者5名（民生委員、ケアマネジャー、介護サービス事業所、高齢福祉課） <p>▶ 個別ケースを通して、地域で暮らす認知症の方を支援するために何ができるのか、家族や地域支援者と共に考えることができた。</p>	

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標